



ステロイド外用剤を安全に、そして効果的に使うためには、薬の特徴を良く知り、正しく使用することが大切です。ステロイド外用剤への漠然とした不安や、疑問点についてお答えします。

### 疑問① ステロイド外用剤を一度使用するとやめられなくなるのでは？

A:ステロイド外用剤は炎症を抑える薬で、病気そのものを治すものではありませんが、上手に使用して症状を改善することができれば、お薬を中止する事もできます。

### 疑問② ステロイド外用剤を中止するとリバウンドが起きるのでは？

A:症状がよくなったと思っても、病気が治っていない時には、再度悪化することにより、以前よりひどくなってしまうことがあります。これをリバウンドと一般的に呼んでいることがあります。しかしこれは単に病気が悪化したものです。自分の勝手な判断で使用を中止せず、上手に減らしていくことが大切です。

### 疑問③ ステロイド外用剤を使用すると骨がボロボロになるのでは？

A:ステロイドの内服や注射の治療を長期間続けると、骨がもろくなってしまいます。しかし外用剤は全身への影響を減らし、皮膚のみに作用するため骨への影響はありません。

### 疑問④ ステロイド外用剤を使用すると、にきびやおできなどができやすいのでは？

A:お薬をぬった部分の免疫力が低下し、その部分に細菌、カビ、ウイルスがついてにきびやおできができやすくなります。早めに治療すると短期間で治すことができるので、「いつもと違う!」と感じたら、すぐに医師、薬剤師に相談して下さい。

### 疑問⑤ ステロイド外用剤を使用すると色が黒く残ってしまうのでは？

A:ステロイド外用剤を使用したからではなく、炎症の赤みで見えなかった色素が、炎症が治まることにより目立つことが原因です。なるべく早めに炎症を治療し、再び悪化しないように注意することが大切です。一時的に黒くなってしまうことがあります。時間がたてば薄くなります。

### 疑問⑥ ステロイド外用剤を長期間使用すると血管が浮いたり、皮膚が薄くなったりするのでは？

A:薬の吸収のよい顔面や、お年寄りの皮膚に長期間にわたって、強いステロイド外用剤を使用し続けると、おきる場合があります。適切な強さのステロイド外用剤を適切な期間、休薬日を設けるなどで避けることができます。

### 疑問⑦ ステロイド外用剤を使うと白内障になるのでは？

アトピー性皮膚炎で白内障が生じるのはステロイド外用剤の影響ではなく、かゆみのために目の周りをこすったり、たたくなど主に外傷性の原因と考えられます。目の周りの症状をよい状態に保ち、刺激しないようにすることが大切です。

参考文献:ステロイド外用剤のウソとホント

お近くのあすなろ薬局にご相談ください。

どこの病院・診療所の処方せんにも対応できます。(お薬によっては時間がかかることがあります)

薬・健康食品・サプリメント等についてのご相談を受け付けています。

(甲府)055-228-4024 (巨摩)055-283-3050 (石和)055-263-1568 (武川)0551-26-3800 (大月)0554-20-1301